



発行・京都障害者スポーツ振興会

題字 芝田 徳造

障害者スポーツ指導員

研修を終えて

森澤 大

障害者スポーツ指導者研修を受講し、障害者スポーツの認識が変わりました。今まで障害者スポーツというとパラリンピックのイメージが強く、恥ずかしながら障害者スポーツ指導者という資格自体もパラアスリートの指導がメインだと思っていました。

研修初日の障害者スポーツの意義を受講する中で、競技スポーツだけでなく、リハビリ、生涯スポーツとしての役割を理解する事が出来ました。その中で、ルールや用具を障害の種類や程度に適合する「アダプテッドスポーツ」という言葉や障害者と健常者が同じ場でスポーツを行う為の様々な工夫をする「インクルージョン」という考え方は非常に心に残りま

した。

車イスバスケットの実技では、今までは車イス＝障害者の代替スポーツという認識でしたが、大きく覆されました。まず車イスのスピード感、方向転換等の機動性が予想以上で特別な楽しさがありました。今回の実習では研修生と大学生と一緒にゲームを行いました

が、運動経験、年齢、性別も様々なメンバーでしたが楽しむ事が出来ました。同じように障害者、健常者関係無く、車イスバスケットという競技の魅力を感じた。時間共有できたら本当に素晴らしい事だと思います。

最終日には「障害者スポーツのつどい」のボランティアに参加させていただきました。実際にこういったボランティアに

参加するのは初めてで、正直どういった接し方をしたら良いのか不安でしたが、ベテランスタッフの皆さまに教えていただく中で、徐々に肩の力が抜けて障害者の方々と一緒に楽しむ事が出来ました。

主に車イススラローム、車イスハンドボール、パラバレーを経験させていただきましたが、何度も来場されている方が上手に車イスを操っているのを見てとても驚きました。一緒に経験する中で自然と距離も近くなり、良い笑顔を見せてくれるようになってうれしかったです。車イスハンドボールでは、丁寧に教えていただきボランティアというのを忘れてしまいうくらゐ没頭してしまいました。車イスバスケット同様、障害者が楽しめる工夫、安全面に配慮されたルールがあり、素晴らしいと感じました。パラバレーでは、障害の重い方も参加されていました。特に印象的だったのは車イスのお子さんとそのお父さんでした。自分にも同じくらしいの息子がいる事もあり、出来る範囲で色々な事を経験させてあげたい、可能性を広げてあげたいという思いが伝わってきました。パラバ

レーンの端を持ちやすくする程度のサポートしか出来ませんが、一緒に参加出来ているという充実感がありました。今後も「障害者スポーツのつどい」にボランティアとして参加させていきたいと思います。また将来的に障害者スポーツの輪を広げて、地元での活動が出来るようになればと思っています。最後に分かりやすく丁寧に講義、実技を指導していただいた講師の皆様、温かくサポートしていただいたボランティアスタッフの皆様、本当にありがとうございました。



国本 陽平

私は普段、多くのアスリートにも関わる、運動指導を仕事にしています。その対象は、幼児から、学生、高齢者、スポーツチームまで老若男女を問わず、対象の目的、希望に合わせてトレーニング指導をしていきます。そのトレーニングの成果が表れ

(裏面へ続く)

行事予定	9月	11(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	来月のつどいは 10 / 14 第2日曜日
		16(日)	障害者水泳のつどい	伏見港公園	
			パラリンピックにチャレンジ(水泳)	伏見港公園	
		22(土)	第38回全京都障害者総合スポーツ大会アーチェリー大会	南丹市日吉総合運動広場	
	23(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽		
	10月	6(土)	車いすハンドボール審判講習会①	京都市障害者スポーツセンター	
		7(日)	第38回全京都障害者総合スポーツ大会 FD大会	丹波自然運動公園	
9(火)		丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園		
		13(土)~15(月)	第18回全国障害者スポーツ大会 福井しあわせ大会	福井県営陸上競技場、他	
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX 075-712-7010 http://www.spo-shin.net/ 【2018年リニューアルしました!】					

